

金山駅前で啓発活動(執行部・空手道部)

副校長
05.8.15
野田

(第3種郵便物認可)

闇バイト 犯罪への片道切符

SNS(交流サイト)で高額な報酬をうたつて犯罪に加担させる「闇バイト」防止に向けて、中署は13日、中区の金山総合駅で広報啓発キャンペーンをした。

署によると、最近は少年らが軽い気持ちで闇バイトに応募し、ニセ電話詐欺や強盗などの実行役になるケースが増えている。危機感を強めた署は7月、闇バイトの実態を学ぶ授業を管内の愛産大工業高で実施。この縁から、啓発活動には生活安全課の署員に加え、同校の生徒会役員や空手部の11人も参加した。

同校の生徒たちが考えた標語「闇バイトは(自宅→犯罪組織の)片道切符」や、署員が闇バイトの危険性を伝えようと考案した漫画が記された啓発リーフレットなど200部を用意。参加者が手分けし、駅を利用する若者たちに手渡した。

3年の河辺拓登さん(17)は「闇バイトは犯罪への入り口として目立っている。日々からスマホを見る際は気を付け、怪しいバイトの情報に近づかないようにしたい」と話した。

(伊勢村優樹)

中署キャンペーン 高校生ら 金山駅で啓発



駅利用者に闇バイトの危険性を伝える啓発物品を配る愛産大工業高の生徒ら=中区の金山総合駅で